

主な記事

ステージアップ

Stage Up

- ・森をはぐくむ、森であそぶ
「野川はあも」の取組
- ・新しい俳句を目指して学び合う
「渚句会」
- ・“川崎ふるさとの小径”を歩いて
～江川・井田山の散歩道～

詳細・他記事等

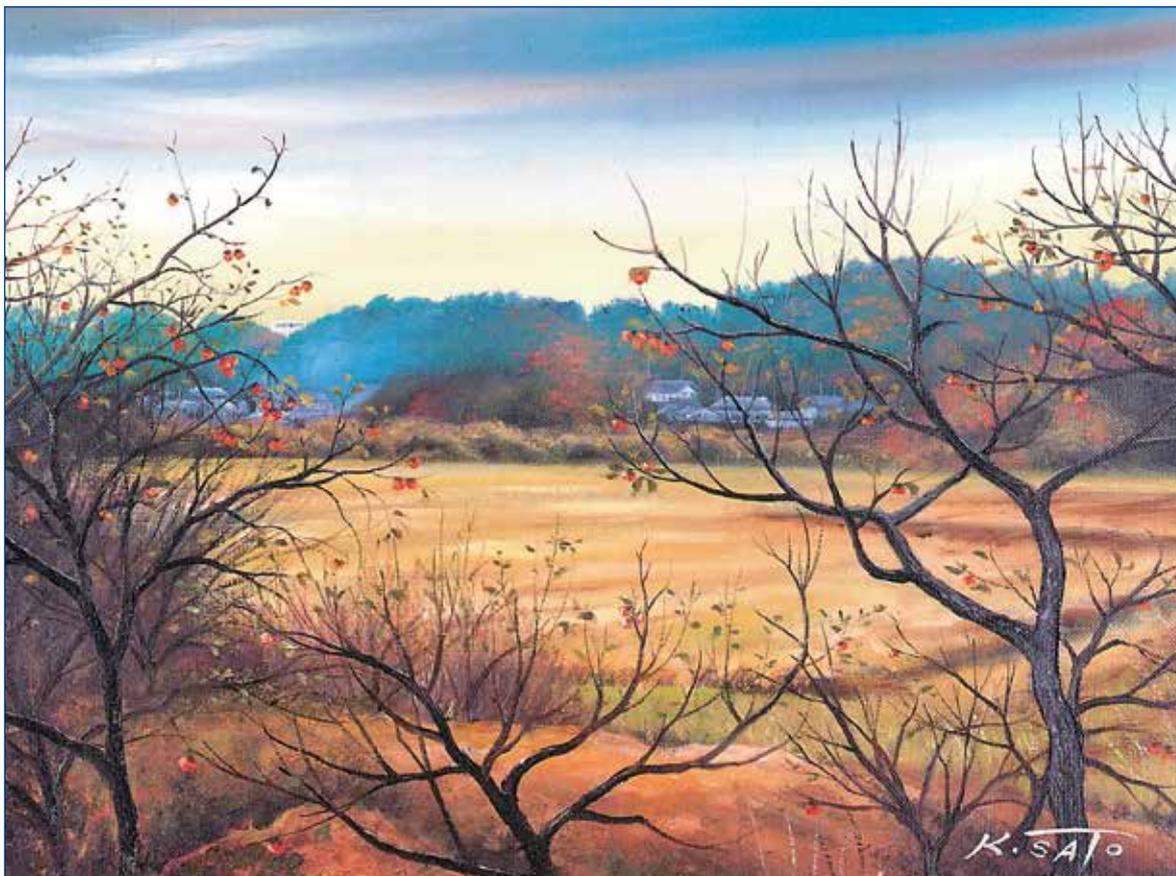
◆ 施設めぐり

- ・川崎浮世絵ギャラリー
～斎藤文夫コレクション～
駅を出てすぐ浮世絵を
五感で楽しむギャラリー
- ・川崎市子ども夢パーク
子どもたちとともに、
つくりつづける施設

◆ 財団情報

- ・生涯学習プラザ
- ・シニア向け無料開放デー
- ・Wi-Fiが利用できます
- ・楽天シニアお出かけ健康
アプリ
- ・お楽しみコーナー
クイズに答えよう!

◀1987年
油彩



<川崎百景>さとう菊夫シリーズ⑮ 菅生秋景

「菅生」という地名は、スゲという草木がたくさん生えているところから名付けられたといわれていたが、詳しいことは分かっていない。『新編武蔵風土記稿』には、「大野原にかこまれし山間の地にして、高低ひとしからず」とあるように、多摩丘陵の大地と谷戸が重なり合い起伏に富んだ地形にあった。

菅生全域の鎮守神社「菅生神社」の祭礼は10月3日。江戸時代から伝えられてきた獅子舞(川崎市重要習俗伎芸に指定されている「初山の獅子舞」)が、五穀豊穡と無病息災を願って奉納されている。

【20数年～40数年前の川崎の四季、田園風景、名所、茅葺の民家、寺社仏閣等を描いてこられた、さとう菊夫さんの作品をシリーズでお届けします。シリーズ①～⑫は209号～220号、⑬・⑭は233号・234号】



発行・(公財)川崎市生涯学習財団

〒211-0064 川崎市中原区今井南町28番41号

TEL 044-733-5560(代) FAX 044-739-0085

http://www.kpal.or.jp/ E-mail:stage-up@kpal.or.jp



当財団は市民の主体的な学びと活動を支援するための諸事業を推進しています。

森をはぐくむ、森であそぶ 「野川はあも」の取組

「ここは気持ちのよい場所ね」

南野川ふれあいの森入口で散歩中のご夫婦から声をかけられました。そこが“気持ちのよい場所”であり続けるように、南野川特別緑地保全地区管理運営協議会「野川はあも」(以降『同会』と略します)は、2004年5月から活動しています。



▲ 活動日は毎月第1日曜日

森の姿を維持しながら 人々が集い、自然を体感する場所に

同会では、森を公園のようにきれいにしていくのではなく、次のような目標を掲げています。

- ◇ 森の生態系を大切に、誰もが気軽に訪れることができる森を、知り、学び、遊び、育て、守ります。
- ◇ 緑あふれる貴重な町であることに誇りを持ち、夢のある町で、夢を語り合える大人たちが、夢を持つ子どもたちの成長を見守ります。
- ◇ 誰もが気軽に訪れることのできる、自然を体感できる森とするとともに、自分の責任で遊ぶところだということを周知していきます。

はぐくみ、あそぶ、もりを



▲ 作業前にしっかり体操

7月の活動日にお邪魔しました。この日はあいにく雨が降り出したため午前中だけの活動でしたが、アットホームで温かい雰囲気の中、楽しみながら自然を

学べる工夫の数々に興味を惹かれました。

毎回始めに「森のお約束」を全員で読みます。これにより、森で注意することや望ましい行動がいつの間にか身についていくようです。

作業前には観察の時間です。「はあもビンゴ」は九つのマスにお題が一つずつ書いてあり、それを各自で埋めていくことによって、楽しみながら森の様子や生物を感じ、発見することができます。

同会に立ち上げ時から関わっている森正俊さんが、「最初



▲ 「青い花」を見つけルーペで観察する様子

の頃は白い花とか黄色い花というお題でしたが、最近はおとひねって、花びらは何枚あるか、おしべは何本あったか、その植物の性質、そういうところまで見てもらうように工夫してビンゴを作っているんです。楽しみながら自然に関する知識を深めていくのが狙いなんです」と教えてくださいました。

作業では、行うことをただ説明するだけでなく、なぜその作業が必要なのか、全員で確認します。この日は「もやかき」が効果的に木の若返りを助けることを学びました。

雨の中、大人たちは黙々と、小学生も器用にのこぎりや鎌を使って作業をこなしていきます。大人の代わりに年下の子の面倒を見る小学生もいます。幅広い年齢層の人たちが気軽に参加できて、お互いを気遣いながら自分のできることをする。同会の活動が16年も続いている秘訣は、参加しやすさとやりがい、遊びと作業のバランスの良さではないかと思いました。

息の長い活動を 次世代につなぎたい

同会の伊藤菊代会長は、「うっそうとした藪のような場所でしたが、今では明るい森になりました。最初は手探りで無我夢中、徐々に固定メンバーが増えてきて、ここ数年で“森とそこに生きる命を知り、森を遊びながら楽しむ”という当初描いた活動が安定してきたような気がします。

いろいろな人がこの場所に関わり、この場所を好きになり、そして楽しく時間を過ごせるように活動していきたいですね。それが次の世代の子どもたちにも受け継がれて、この森が守られていくとよいなど。これからも多くの人の思いと行動で、野川はあもの時を重ねていけたらと願います」と話します。

▼ もやかき作業

(伐採した木から吹いてきた新梢を選別する作業)



▲ 姉を真似て弟もお手伝い

新しい俳句を目指して学び合う 「渚句会」

渚句会は1997(平成9)年、川崎市高津区で俳句結社「海」の支部として発足しました。「和」と「座」を大切に楽しい句会と新しい俳句を目指して、現在16名の会員の皆さんが活動しています。2016(平成28)年から支部長を務める古川日出子さんにお話を伺いました。



▲ 古川日出子さん

「座」においては皆平等

俳句の世界、句座では皆が等しく同じ立場です。句会で出句された俳句を皆で合評しながら学び合います。句会には年齢も背景もさまざまな方が来られますが、細かいことは詮索せず純粋に俳句だけを楽しみます。長いこと一緒にやっていると、その方の性格や、また自分自身についても気付かされるが多々あります。それもまた面白いところですね。

句会はずっとスリリング



▲ 出句された俳句を丁寧に書き写します

渚句会は毎月第1木曜日に句会を開催しています。まず、皆さんがひと月かけてつくられた俳句3句を句会に提出(投句)。次にそれぞれの俳句を全員で用紙に清記します。この時、一字一句間違えないように、座は緊張感でシーンとしますね。清記が終わると、自分が良かったと思う5句を選び(互選)、そして選句結果が披講(ひこう)されます。その際、自分の俳句が読み上げられたら、例えば私でしたら「日出子」と名乗ります。この時はドキドキしますね。全く選ばれなかったり、多くの方に選ばれたり。このようにゲーム的なところがまた面白いのです。

互選のあとは全部の俳句を無記名で主宰(先生)の元に送り、「特選、佳作」と結果が戻ってきます。これらを「句会報」に載せて会員それぞれに配ります。このような流れで句会が進みます。

選句しながら、「これはどなたの句かしら。面白い句だな」と考えていて披講の時の名乗りで、「あ、やっぱりね」と納得したり、「これ彼女なの?」と驚いたり。互選ではたくさんの方に選ばれたのに、主宰の選では選外でガッカリしたりします。

結構スリリングで楽しくて、多くの方がハマってしまうのです。

吟行では新たな発見があります

吟行は毎月第二木曜日、川崎市内の公園や、東京、横浜、鎌倉など近郊の名所旧跡を巡ります。

渚句会を発足された故山田節子先生が、「吟行は雨でも風でも中止しないのですよ」と言われた言葉が今でも鮮明に私の中に残っています。同じ場所でも季節が違えば全く違いますし、雨が降っても、風が吹いても、その時々表情が見えて、今まで見過ごしていた発見があります。



▲ 春の吟行 昭和記念公園

日常生活が光りだす17音字の世界

自分自身と日常を詠むことで、新し味のある俳句ができることもありますね。例えば買い物に行っても何か発見しようと頭と目をあちこち回転させますので、毎日の生活がとても楽しく、生き生きとしたものになります。道を歩いていると、お花を見れば、「きれいね」というだけでなく、「よくこんなところに咲いたわね」と思ったり、部屋の中からベランダに出したクモが必死になって部屋のほうにまた戻ってくる姿を見て、「かわいらしいなあ」と感じたり、そんな身の回りのいろいろなものが愛しくなります。このような気持ちになれるのも俳句のおかげかも知れませんね。

60代、70代ともなると、自分の考えがしっかり固まっていますので、そこから抜け出すことは容易ではありません。新しい俳句を目指すということは難しいですが、自分の殻をどう破って新しい俳句づくりに挑戦するかというのも面白いところですね。

俳句の未知なる世界にご興味をお持ちでしたら、まずは一度、句会の見学にいらしゃいませんか。



▲ 「渚」第二集 渚句会 20周年記念 合同句集

■ 問合せ 「渚句会」支部長 古川 日出子

電話&ファックス:

044-877-2945(平日9時から20時)

メールアドレス:

hideko.111-neerim.rd@ezweb.ne.jp

特集 “川崎ふるさとの小径”を歩いて ～江川・井田山の散歩道～

武蔵新城駅 南武線 登戸へ START! 武蔵小杉へ

新城公園 又玄寺

せせらぎ遊歩道
ザリガニ・めだか・カルガモの親子…水辺の多様な生き物たちと川崎市民が共生する、街中の自然の宝庫です。

全龍寺
せせらぎ遊歩道を少しはずれて、住宅地の中ほどにひっそりとたたずむ全龍寺へ。緑豊かな境内のたたずまいに心癒されます。檀徒位牌堂に安置されている「石像小林正利坐像」は、川崎市の重要歴史記念物に指定されています。

橋公園
中之橋跡で右折し尻手黒川道路を渡り、地元民の憩いの場、橋公園のベンチで一休み。

神庭特別緑地保全地区
うっそうとした竹林とクヌギの原生林に足を踏み入ると、千三百年の時を越えて古代人の息遣いが聞こえるよう。円墳が点在しています。

井田山散策コース
眼下に広がる街の風景を振り返りながら、井田さくらが丘の高台をめざして登って行きます。こもれび公園で一呼吸ついたら井田病院前を通って下りルートに。

井田山緑地 (井田山特別緑地保全地区)

☆遊歩道は8つのゾーンに分かれており、テーマごとに工夫が凝らされています。
① 湧き水の小径 ② 桜のプロムナード ③ 散策の道 ④ ふれあい広場
⑤ せせらぎ広場 ⑥ 清流の道 ⑦ あぜの道 ⑧ 河原の道

元住吉駅 渋谷へ GOAL! 横濱へ

東急東横線



モトスミ・ブレイメン通り
帰りはにぎやかなブレイメン通りを通って元住吉駅へ。計6キロの行程でした。
お疲れ様でした!

川崎ふるさとの小径について 川崎市にはこの他に、次の10コースが設定されています。

多摩自然遊歩道 (稲田堤駅～読売ランド前駅 4.2 km) / 長尾の里めぐり (宿河原駅～津田山駅 5.5 km) / 多摩川のみどりとニヶ領用水のルーツを訪ねる散歩道 (稲田堤駅～宿河原駅 6 km) / せせらぎと親子広場・文学碑・彫刻を訪ねる散歩道 (宿河原駅～等々力緑地 8 km) / 大師道よりリバーサイドコース (京急線港町駅～浮島町公園 6 km) / たちばなの散歩道 (梶が谷駅～子母口バス停 5 km) / 東生田自然遊歩道 (読売ランド前駅～向ヶ丘遊園駅 6.5 km) / 柿生の里散歩道 (柿生駅～王禅寺ふるさと公園 6 km) / 柿生の峰をめぐる散歩道 (はるひ野駅～柿生駅 9.2 km) / 渋川・加瀬をめぐる散歩道 (元住吉駅～新川崎～鹿島田駅 7.4 km)

◀ 川崎ふるさとの小径『ガイドマップ 川崎散歩ゆるり旅』

川崎市では、市域に残存する身近な自然とふれあいながら遺跡・史跡の歴史的資源をめぐるとともに、ふるさとの緑への関心を市民の皆様に深めていただくために、昭和53年より「川崎ふるさとの小径」のコースの設定をはじめました。遊歩道ガイドマップは各区役所等で配布しています。

■問合せ 川崎市 建設緑政局緑政部みどりの協働推進課
電話：044-200-2380

施設めぐり

市内公的施設の紹介

川崎区

川崎浮世絵ギャラリー ～斎藤文夫コレクション～

JR川崎駅北口 または
京急川崎駅より徒歩2分

駅を出てすぐ浮世絵を五感で楽しむギャラリー



▲川崎駅北口通路の看板

JR川崎駅北改札を出て右に行くと、浮世絵の看板が目に入ります。京急川崎駅からも徒歩2分という好立地に川崎浮世絵ギャラリーがあります。こちらのギャラリーは公益社団法人川崎・砂子の里資料館が所蔵する4,000点を超える豊富な浮世絵コレクションを川崎市が無償で借り受け、公益財団法人川崎市文化財団が運営しています。

作品の状態を保つため照度50ルクスに抑えられた中に浮かび上がるように浮世絵作品の数々が展示され、ギャラリー内に足を踏み入れると、仕事や日常生活で高ぶった心が静まってくようです。川崎市文化財団の瀬戸さんと、学芸員の蛭田さんが私たちを迎えてくださいました。



▲ギャラリー内

企画展ごとに展示作品を総入れ替え

▲ゴッホが模写したことで有名な
左「亀戸梅屋舗」
右「大はしあたけの夕立」

この日は「広重とめぐる『江戸名所百景』・前期」展が開催されていました。名所絵の第一人者として人気を誇った歌川広重最晩年の傑作「名所江戸百景」の春・夏の作品と、関連する作品が展示されています。教科書やポストカードで目にする有名作品も展示され、150年以上の年月を経てもなお鮮やかな錦絵(多色刷り浮世絵木版画の総称)からは花の香りが漂い、雨風の音が聞こえてくるようです。

蛭田さんが、「ガラスケースには『江戸名所百景』の下絵になったともいわれる『絵本江戸土産』を展示しています。広重作の魔除けの神『鍾馗(しょうき)』の肉筆画と、さまざまな絵師によって描かれた鍾馗の肉筆画も展示していますが、疫病退散の神は今年多く取り上げられるテーマですね」と、一つひとつの作品を丁寧に説明してくださいました。

瀬戸さんからは、この優美な空間の舞台裏を。「企画展は、川崎・砂子の里資料館の斎藤先生にご指導いただきながらテーマを考えます。作品は1カ月展示したら1年は休ませなければいけないので、企画展毎に六十数点を総入れ替えします。今回はじっくり鑑賞していただくために全ての作品に解説をつけています。よく知られた作品から希少な作品まで、作品

とともに解説もぜひご覧ください。かなりハイスピードで準備しなければならず、裏側は常に動いています。でも、毎月違った作品を楽しめるので、ご覧いただく方には喜んでいただける展示だと思っています」



▲ 関連展示「魔除けの神 鍾馗」

企画展情報

「大蘇芳年『月百姿』
発行 135 年記念展」

8月22日(土)～9月13日(日)【前期】
9月19日(土)～10月18日(日)【後期】

文明開化の明治にあつて、江戸浮世絵の心を描いた大蘇芳年の代表作「月百姿」。今年のお月見は浮世絵でごゆつくり。

「光の絵師 小林清親」

10月24日(土)～11月15日(日)【前期】
11月21日(土)～12月20日(日)【後期】

従来の浮世絵に「光線画」という独自のスタイルを取り入れた小林清親。激動の幕末を生き抜いた彼の描いた光と影をご覧ください。

開館時間: 11時00分から18時30分(月曜休館)
入館料: 500円(高校生以下無料)

初めて浮世絵に触れる人も
熱心な愛好家も楽しめるギャラリーに

斎藤文夫コレクションの中身は濃く、北斎の「富嶽三十六景」や広重の「東海道五拾三次」保永堂版、写楽などの有名作品、幕末から明治初期の「横浜絵」「開化絵」といった地域性の高い作品もたくさんあり、大変貴重なコレクションです。誰もが知るメジャー作品と、川崎をテーマにしたローカルな作品と両方ありますので、双方の面から楽しめるのではないのでしょうか。学芸員による作品解説と来館者からの質問に答えるギャラリートークも好評です。

お二人は、「『次回の展示も楽しみにしています』というアンケートの声に力を得て、浮世絵を初めて見る方から愛好家の方まで毎月楽しんでいただけるように工夫しています。ぜひ何度もご来館いただき、浮世絵をお楽しみください」と話します。



◀ ショップでは、プレゼントにも
うんそうどう
普段使いにもぴったりな芸艸堂
(日本唯一の手摺木版本を刊行
する京都の出版社)のオリジナル
グッズを取り扱っています

■ 問合せ: 川崎浮世絵ギャラリー ～斎藤文夫コレクション～
〒210-0007

川崎区駅前本町12-1 川崎駅前タワー・リパーク3階

電話 044-280-9511

http://ukiyo-e.gallery Twitter@Kawasaki_ukiyo

高津区

川崎市子ども夢パーク

JR津田山駅下車徒歩5分

子どもたちとともに、つくりつづける施設



▲川崎市子ども夢パーク入口

川崎市子ども夢パークは、「川崎市子どもの権利に関する条例」を基に、その具現化を目指してつくられた「子どもの、子どもによる、子どものための施設」です。2003(平成15)年7月にオープ

ンし、今年で17年目になりました。

新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言発令に伴い臨時休園する施設が相次ぐなかでも、子ども夢パークは子どもたちを迎え続けました。もちろんさまざまな感染症拡大防止対策はとりながらですが、子どもが子どもでいられる場であり続けました。

プレーパーク(冒険遊び場)は、土や水、火や木材・工具などを使い、子どもたちによって自由につくり変えられる遊び場です。子どもの「やってみたい」気持ちを大切に、自主的・自発的活動を支援し、運営や遊具の製作・設置・撤去、イベントの開催などに子どもたちの意見を聴き、一緒に取り組んでいます。



▲そこにあるもので遊びを生みだすプレーパーク(冒険遊び場)

自分の責任で自由に遊ぶ場

プレーパークでは、たき火をしたり、土山で泥遊びをしたりすることができます。のこぎりなどの工具を使った木工もできます(たき火体験と工具の貸し出しは月・水・土・日曜日に行っています)。

夏の時期はウォータースライダーが大人気です。地下水をくみ上げているので水遊びや泥遊びの水は自由に使えます。



▲(左)たき火体験 (右)ウォータースライダー遊びを制限するような禁止事項をできるかぎりつくらないことで、子どもたちが自分で決めたり、危険を判断したりできるようにします。

ありのままの自分でいられる場

▶2階「ごろり」
本がたくさん置いてあります。友だちとおしゃべりしたり、本を読んだり、ボードゲームをしたりと、ゆっくり過ごせる部屋です。



◀1階「ゆるり」
おもちゃや絵本、ベビーベッドや授乳スペースもあり、赤ちゃん連れでも気兼ねなく過ごせます。

屋内の施設では、2階の「ごろり」は、子どもたちが寝転がって自由に過ごせる部屋です。今年6月に床を張替え、きれいになりました。

1階の「ゆるり」は乳幼児親子がくつろげるスペースです。こちらも床を張替え、きれいになりました。ベビーベッドや授乳スペースもあります。

※現在、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、ボールやラケット、屋内ゲームなど遊具の貸し出しを制限しております。また、毎年開催しているイベントなども、同じようには実施できなくなっております。ご来所いただく前に、子ども夢パークのホームページでご確認ください。

アクセス



■問合せ：川崎市子ども夢パーク
〒213-0001
川崎市高津区下作延5-30-1
電話 044-811-2001 FAX 044-850-2059
<http://www.yumepark.net>
開所時間：9時00分～21時00分
休所日：施設点検日(第3火曜日)・年末年始

川崎市生涯学習プラザからのお知らせ

財団
情報



事業・講座の紹介

広告!
募集!

『Stage Up』に広告を掲載しませんか。
詳しくはHPをご覧ください。



健康福祉局協働事業

シニア向け無料開放デー

10月より一部施設のシニア向け無料開放が始まります

◇◇ 無料開放日 毎週火曜日・金曜日の9時～17時

101 活動室 囲碁・将棋等を自由にお楽しみいただけるフリースペース (予約不要)

※ 市内在住の60歳以上の方が対象。
初回のみ利用者登録があります。

202 会議室 サークル活動・ストレッチ・ヨガ・健康体操など (要予約)

※ 概ね半数が60歳以上の団体のみ利用できます。
詳しくはお問い合わせください。



三密に注意しながら
対局をお楽しみください

- ・202 会議室の予約については、利用予定月の3カ月前の抽選会の日に行います。重複の際には抽選となります。抽選会で予約が入らなかった場合には先着順で申し込みを受け付けます。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、ご利用に制限が生じる場合があります。

詳しくは当財団HPをご覧ください



川崎市生涯学習プラザで Free Wi-Fi が利用できます

「インターネットにつなげないかな」
「会議室でWeb会議をしたいんだけど」



そんな要望に応えるべく、当プラザの会議室にFree Wi-Fi「U-SPOT」を設置しました。パソコンやスマートフォン等の無線LAN対応機器があれば、どなたでも無料でインターネットを利用できます。なお、1階では従来通り「かわさきWi-Fi」をご利用いただけます。

◆お楽しみコーナー Stage Up 235号 クイズに答えよう!



「川崎市子どもの権利に関する条例」を基につくられた「子どもの、子どもによる、子どものための施設」です。

下の○にあてはまる言葉を入れてください。

『川崎市子ども○パーク』 ※ヒント p.7

【応募方法】

- ①答え ②〒・住所 ③氏名 ④Stage Upの入手場所
⑤今号の誌面でよかった記事(理由)を書いて、はがき、FAX、Eメールで担当宛、応募してください。

※締切 2020年10月30日 必着
※正解 ホームページ及び次号に掲載
※正解者3名に500円の図書カードを贈呈
(発表は発送に代えさせていただきます)



〒211-0064 中原区今井南町28-41

川崎市生涯学習財団 Stage Up(ステージアップ)担当
Eメール:stage-up@kpal.or.jp

TEL 044-733-5811 FAX 044-739-0085

※個人情報、発送業務以外の目的では使用しません。

☆234号のクイズの答え・・・多摩川

楽天ポイントを貯めよう!
お出かけ健康アプリ
家族で健康寿命アップ!

楽天シニアのアプリを無料ダウンロードのうえ、当プラザ1階受付の楽天端末でチェックインすると、4,000歩以上で楽天ポイントを1ポイントゲット! アプリを通して当財団のイベント情報にもアクセスでき、予約も可能です。イベント参加でさらにポイント獲得も!